

平成 29 年度

埼玉県准看護師試験問題

指示があるまで開いてはいけません。

注 意 事 項

- 1 解答用紙には「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 試験時間は、午後 1 時から午後 3 時 30 分までの 2 時間 30 分です。
- 3 解答は、必ず解答用紙（マークシート）に記入してください。
- 4 各問題には、1、2、3、4 の四つの選択肢がありますが、正答は 1 つです。最も適切なものを一つ選び、解答してください。

(例) 次のうち日本の首都はどこか、正しいものを選びなさい。

- 1 京 都
- 2 東 京
- 3 大 阪
- 4 福 岡

正解は 2 の東京ですから、右のように 2 の中を濃く完全にぬりつぶしてください。

問題 番号	解 答 欄			
1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- 5 記入はすべて HB の鉛筆またはシャープペンシルを使用して
ください。(ボールペンやフリクションペンで記入すると、採点されません。)
- 6 答えを修正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消してください。
(消しあとが残っていると誤って採点される場合があります。)
- 7 試験時間中に発言してはいけません。また、用事があるときには手を挙げてください。

問題1 内腔が移行上皮で覆われている臓器はどれか。

1. 胃
2. 食道
3. 卵管
4. 膀胱

問題2 足を足関節で足底側に曲げる筋はどれか。

1. 前脛骨筋
2. 下腿三頭筋
3. 大腿二頭筋
4. 長趾(長指)伸筋

問題3 赤血球について正しいのはどれか。

1. 骨髄でつくられる。
2. 腎臓で壊される。
3. 寿命は約 60 日である。
4. 直径は $70\sim 80\mu\text{m}$ である。

問題4 心臓の生理について正しいのはどれか。

1. 心拍数は発熱によって減少する。
2. 心電図の P 波は心室の興奮を表す。
3. 心音の第 1 音は心室の拡張期の初めに生じる。
4. 健康な成人の安静時における 1 回拍出量は $70\sim 80\text{ml}$ である。

問題5 小腸について正しいのはどれか。

1. 長さは約 2 m である。
2. 水の吸収量は大腸より少ない。
3. 微絨毛とよばれる突起がある。
4. 十二指腸、空腸、盲腸に分けられる。

問題6 血液のpHについて正しいのはどれか。

1. pHは7.35~7.45に維持される。
2. 過換気症候群ではpHが低くなる。
3. pHが低下した状態をアルカローシスという。
4. pHは酸素と炭酸水素イオン(重炭酸イオン)平衡で維持される。

問題7 副腎皮質ホルモンはどれか。

1. グルカゴン
2. オキシトシン
3. カルシトニン
4. アルドステロン

問題8 交感神経の働きで正しいのはどれか。

1. 縮瞳
2. 心拍数の増加
3. 胃の運動促進
4. 涙腺の分泌増加

問題9 皮膚の構造で正しいのはどれか。

1. 脂腺は足底に見られる。
2. 表皮と皮下組織の2層からなる。
3. エクリン汗腺は全身の皮膚に分布する。
4. 表皮顆粒層にはメラニン色素が含まれる。

問題10 日本人の食事摂取基準で正しいのはどれか。

1. 10年ごとに改定が行われている。
2. 対象は疾患をもつ個人または集団である。
3. 策定目的に生活習慣病の重症化予防がある。
4. エネルギー収支バランスの維持を示す指標にエネルギー代謝率がある。

問題 11 脂質について正しいのはどれか。

1. 必須脂肪酸は体内で合成できる。
2. リノール酸は飽和脂肪酸である。
3. エネルギー値は1gにつき4kcalである。
4. 飽和脂肪酸は血中コレステロールを上昇させる。

問題 12 慢性腎臓病(CKD)の食事療法で正しいのはどれか。

1. ステージG1ではタンパク質制限を行う。
2. 食塩摂取量は6g以上10g未満/日を基本とする。
3. エネルギー摂取量は25~35kcal/kg/日が推奨される。
4. タンパク質を制限する場合はエネルギー摂取量も制限する。

問題 13 薬物の排泄機能を評価できる指標はどれか。

1. ヘマトクリット値
2. グリコヘモグロビン
3. クレアチンキナーゼ
4. クレアチニン-クリアランス値

問題 14 医薬品について誤っているのはどれか。

1. 日本薬局方におさめられている。
2. 一般名、化学名、商品名の3つの名称がある。
3. 毒薬は白地に赤枠、赤字で薬品名と毒の文字を記載する。
4. 商品名は名称とともに商品名をあらわす \textcircled{R} を表示する。

問題 15 気管支拡張薬について正しいのはどれか。

1. 慢性閉塞性肺疾患には無効である。
2. 気管支の平滑筋を収縮させる。
3. 副交感神経を刺激する。
4. 副作用に頻脈がある。

問題 16 黄疸の原因となる変性はどれか。

1. 色素変性
2. 脂質変性
3. 糖質変性
4. タンパク質変性

問題 17 ショックと原因との組み合わせで正しいのはどれか。

- | | | |
|-----------------|------|---------|
| 1. 心原性ショック | ———— | 心タンポナーデ |
| 2. 神経原性ショック | ———— | 昆虫毒 |
| 3. 敗血症(細菌)性ショック | ———— | アレルギー反応 |
| 4. アナフィラキシーショック | ———— | グラム陰性菌 |

問題 18 炎症細胞について正しいのはどれか。

1. T細胞は液性免疫に関与する。
2. B細胞は胸腺を経由して分化する。
3. 形質細胞は免疫グロブリンを産生する。
4. リンパ球は食作用によって細菌を細胞質内に取り込む。

問題 19 良性腫瘍の特徴で正しいのはどれか。

1. 転移がおこりやすい。
2. 異型性は軽度である。
3. 浸潤性に増殖する。
4. 再発しやすい。

問題 20 大腸がんについて正しいのはどれか。

1. 直腸の発生は少ない。
2. 扁平上皮がんが多い。
3. 右側結腸と左側結腸で症状は同じである。
4. デュークス分類はリンパ節転移の有無を評価する。

問題 21 糖尿病の三大合併症でないのはどれか。

1. 腎症
2. 網膜症
3. 神経障害
4. 動脈硬化症

問題 22 不活化ワクチンはどれか。

1. 日本脳炎ワクチン
2. BCGワクチン
3. 水痘ワクチン
4. 風疹ワクチン

問題 23 緑膿菌について正しいのはどれか。

1. グラム陽性桿菌である。
2. 酸素がない環境を好む。
3. 抗生物質に強い感受性がある。
4. 日和見感染の代表的な原因菌である。

問題 24 真菌が原因となる疾患はどれか。

1. 百日咳
2. レジオネラ症
3. 成人T細胞白血病
4. 肺アスペルギルス症

問題 25 生命倫理について正しいのはどれか。

1. 我が国では脳死状態を死とみなすことができる。
2. 積極的安楽死とは延命治療を中止する方法である。
3. 我が国には尊厳死を認める法律が制定されている。
4. 「母体保護法」の人工妊娠中絶の適応要件に胎児の異常がある。

問題 26 患者の権利主張を支援・代弁する考え方はどれか。

1. アドボカシー
2. パターナリズム
3. コンプライアンス
4. インフォームドコンセント

問題 27 回復期にある患者の心理的特徴で適切なのはどれか。

1. 経済的な不安は抱きにくい。
2. 患者の関心は生命の危機に向けられる。
3. 元の生活に戻ることに期待感がある。
4. キュブラー・ロスの心理プロセスをたどる。

問題 28 カウンセリングにおける看護職の態度で適切なのはどれか。

1. 同情
2. 共感
3. 指導
4. 評価

問題 29 防衛機制について正しいのはどれか。

1. 抑圧とは苦痛な観念を無意識下に迫いやることである。
2. 投影とはもっともらしい理由をつけて正当化することである。
3. 同一化とは自己の受け入れがたい感情を他に移しかえることである。
4. 合理化とは別の人の特性を自分のものとして取り入れることである。

問題 30 特定機能病院は何人以上の患者が入院できる施設を有するか。

1. 100 人
2. 200 人
3. 300 人
4. 400 人

問題 31 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」によって診断後、直ちに届け出なければならないのはどれか。

1. 梅毒
2. 狂犬病
3. 性器クラミジア感染症
4. 後天性免疫不全症候群

問題 32 看護職の業務上の義務で正しいのはどれか。

1. 守秘義務は退職時に解除される。
2. 業務従事者届は就業地の市町村長に届け出る。
3. 助産録は3年間保存しておかなければならない。
4. 准看護師は医師の指示があれば医薬品を授与できる。

問題 33 労働基準法で規定されているのはどれか。

1. 労働時間
2. 健康診断
3. 育児休業
4. 安全管理者の選出

問題 34 国際生活機能分類(I C F)について生活機能の要素でないのはどれか。

1. 心身機能・身体構造
2. 活動
3. 参加
4. 障害の程度

問題 35 アルマ・アタ宣言で提唱されたのはどれか。

1. セルフケア
2. ヘルスプロモーション
3. ノーマライゼーション
4. プライマリヘルスケア

問題 36 日本看護協会について正しいのはどれか。

1. 保良せきによって創設された。
2. 看護者の倫理綱領を定めている。
3. 会員は看護師および准看護師に限られている。
4. 明治 32 年(1899 年)に現在の名称に改称された。

問題 37 平成 29 年(2017 年) 4 月現在の看護師学校養成所 2 年課程(通信制)の入学資格に必要な准看護師の業務経験年数はどれか。

1. 3 年以上
2. 5 年以上
3. 7 年以上
4. 10 年以上

問題 38 専門看護師について正しいのはどれか。

1. 平成 19 年(2007 年)より養成している。
2. 3 年ごとに資格を更新する必要がある。
3. 養成課程は看護系大学院修士課程である。
4. 国際看護師協会における認定が必要である。

問題 39 看護理論家と著書との組み合わせで正しいのはどれか。

1. I・J・オーランド ————— 「看護の探求」
2. J・トラベルビー ————— 「看護の基本となるもの」
3. V・ヘンダーソン ————— 「患者中心の看護」
4. F・アブデラ ————— 「人間対人間の看護」

問題 40 体位の特徴について適切なのはどれか。

1. 立位は筋肉に加わる負担が少ない。
2. 仰臥位はエネルギー消費が大きい。
3. 側臥位は上側の循環障害に注意する。
4. 半座位は呼吸困難のある患者に用いられる。

問題 41 報告について適切でないのはどれか。

1. 経過の次に結論を報告する。
2. 記録を提示しながら報告する。
3. 緊急時は一刻も早く報告する。
4. 相手が理解できる速度で報告する。

問題 42 看護過程について適切なものはどれか。

1. アセスメントは具体策に従った実践の段階である。
2. 計画立案は看護問題を明確化する段階である。
3. 実施は目標を設定する段階である。
4. 評価は看護過程の各段階で行う。

問題 43 病衣の種類や条件で適切なものはどれか。

1. 手術直後の病衣の選択は患者の好みを優先する。
2. 病衣は肉眼的に汚染があるときに交換すればよい。
3. 感染症患者が使用した病衣と他の病衣は同じ取り扱いでよい。
4. 片麻痺のある患者の病衣は運動機能やセルフケア能力を考慮して選択する。

問題 44 ベッドメイキングについて適切でないのはどれか。

1. シーツはしわのないように敷く。
2. ベッドの中心線とシーツの中心線を合わせて敷く。
3. マットレスの下にシーツを入れるときは手掌を上に向ける。
4. 失禁のある患者の防水シーツは殿部の位置に合わせて敷く。

問題 45 ストレッチャーによる移送で適切なものはどれか。

1. 下り坂は頭側から進む。
2. 頭側の看護師が患者の状態を確認する。
3. 段差がある場合はスピードを速めて乗り越える。
4. ストレッチャーへの移動時はストッパーをはずしておく。

問題 46 ボディメカニクスで適切なのはどれか。

1. 小さな筋群を用いる。
2. 重心の位置を高くする。
3. 支持基底面積を広くする。
4. 重心を支持基底面の外側にする。

問題 47 コミュニケーションの種類と説明との組み合わせで正しいのはどれか。

- | | | |
|-------------------|------|-------------------|
| 1. マスコミュニケーション | ———— | 双方向のやりとりである |
| 2. 言語的コミュニケーション | ———— | 自分の意思を身ぶりで伝える |
| 3. 非言語的コミュニケーション | ———— | 会議の結果を言葉で伝える |
| 4. パーソナルコミュニケーション | ———— | 個人間のメッセージのやりとりである |

問題 48 安眠への援助で適切なのはどれか。

1. 就寝前は熱めのお湯に入浴するように勧める。
2. 夜間の睡眠がとれないときは長時間の昼寝を勧める。
3. 夕方からの光刺激は早く寝つくことができると説明する。
4. 睡眠薬を使用するときは患者の訴えや睡眠状況を観察する。

問題 49 患者の誤認防止対策で適切でないのはどれか。

1. 与薬時は 6 R を確認する。
2. 援助ごとに患者確認を行う。
3. 患者本人に名字を名乗ってもらう。
4. 入院時にリストバンドを装着する。

問題 50 口腔ケアの目的や方法について適切なのはどれか。

1. 義歯は上顎から下顎の順にはずす。
2. ブラッシングは唾液分泌を促進する。
3. 舌苔が多い場合は歯ブラシで強くこする。
4. 義歯はティッシュペーパーに包み保管する。

問題 51 自分で食べられない患者の食事介助の方法で適切なのはどれか。

1. はじめに固形物を口に運ぶ。
2. 介助者のペースで援助する。
3. 食事摂取時の体位は患者に任せる。
4. 口に運ぶ食べ物を説明しながら援助する。

問題 52 温罨法について適切なのはどれか。

1. 炎症を抑える目的がある。
2. 湯たんぽは患者の身体に密着させる。
3. 金属製湯たんぽの湯の温度は 80℃にする。
4. ゴム製湯たんぽは注入口まで湯を入れる。

問題 53 スタンダードプリコーションで感染源とされるのはどれか。

1. 汗
2. 爪
3. 鼻汁
4. 頭髮

問題 54 診察の準備や介助の方法で適切でないのはどれか。

1. 診察の目的と方法を患者に説明して了解を得る。
2. 腹部の診察時は患者を仰臥位にして膝を伸展させる。
3. バスタオルをかけ不要な露出を避ける。
4. 介助者は患者の顔の上を避けて物品を渡す。

問題 55 ジャパンコーマスケール(3-3-9度方式)による意識レベルの評価法でⅡ-20 はどれか。

1. 痛み刺激に顔をしかめる。
2. 自分の名前や生年月日が言えない。
3. 痛み刺激に払いのける動作をする。
4. 大声で呼ぶか身体を揺さぶれば開眼する。

問題 56 体温測定で適切なのはどれか。

1. 口腔検温は舌の上で測定する。
2. 麻痺がある場合の腋窩検温は患側で測定する。
3. 腋窩検温は体温計を体軸に対し 90 度で挿入する。
4. 乳児の直腸検温は体温計を肛門から 2.5～3.0cm 挿入する。

問題 57 仰臥位の腹囲測定で適切なのはどれか。

1. 最大腹囲は臍上を測定する。
2. 吸気の終わりに目盛りを読む。
3. 経過を観察する場合は測定位置を決めておく。
4. メタボリックシンドロームの判定のために行う。

問題 58 筋肉内注射について正しいのはどれか。

1. 通常は大殿筋に行く。
2. 20G 針を用いる。
3. 注射針は 10～30 度の角度で刺入する。
4. 電撃痛を訴えたら直ちに中止する。

問題 59 ネブライザー吸入の援助で適切なのはどれか。

1. 霧状の薬液は自動的に出てくるので調節の必要はない。
2. マウスピースは奥までくわえるよう指導する。
3. 吸入中はゆっくりと呼吸をするように説明する。
4. 口腔内にたまった痰を吐き出さないように説明する。

問題 60 中心静脈栄養法について正しいのはどれか。

1. 身体へのリスクが低い処置である。
2. 鎖骨下穿刺の処置に際しては半座位とする。
3. 輸液中はベッド上で絶対安静にするように指導する。
4. カテーテル挿入後は刺入部の発赤の有無を観察する。

問題 61 男性の導尿について適切なのはどれか。

1. 体位は側臥位とする。
2. 外尿道口の消毒は不要である。
3. カテーテル挿入時は口呼吸を促す。
4. カテーテル挿入の長さは 25cm 以上である。

問題 62 主に診断の目的で行われる浣腸はどれか。

1. 駆風浣腸
2. 催下浣腸
3. 高圧浣腸
4. バリウム浣腸

問題 63 胃洗浄について適切なのはどれか。

1. 体位は右側臥位とする。
2. 洗浄液の温度は 25℃程度とする。
3. 1 回の注入量は 600～700ml とする。
4. 漏斗を用いる場合は落差を 50cm 以内とする。

問題 64 成人の鼻腔・口腔内吸引について適切なのはどれか。

1. 1 回の吸引時間は 20～30 秒とする。
2. 吸引用カテーテルは 16～18Fr を用いる。
3. 吸引圧は 150mmHg (20kPa) 程度に設定する。
4. 分泌物が引けなかったときは直ちに再吸引を試みる。

問題 65 骨髄穿刺について適切なのはどれか。

1. 腰椎の椎間を穿刺する。
2. 血液凝固異常症の診断目的で行う。
3. 穿刺部位は圧迫せずにガーゼで覆う。
4. 採取した骨髄はすみやかに検査室に送る。

問題 66 包帯法の目的と説明との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 圧迫 ————— 骨折部を固定し安静を保つ
2. 支持 ————— 骨折部を伸展して整復を図る
3. 固定 ————— カテーテルを患部に固定する
4. 被覆 ————— 創面を覆い接触による刺激を避け細菌の感染を防ぐ

問題 67 パルスオキシメーターで測定できるのはどれか。

1. $S a O_2$
2. $S p O_2$
3. $P a O_2$
4. $P a C O_2$

問題 68 発熱について正しいのはどれか。

1. 体温調節中枢は延髄にある。
2. 悪寒戦慄の症状は解熱するまで続く。
3. 解熱時は皮膚血管が収縮し熱の放散が促される。
4. 体温上昇中は温罨法を行いエネルギー消費をおさえる。

問題 69 大量の嘔吐で引き起こされる状態で適切でないのはどれか。

1. 昏睡
2. テタニー
3. ショック
4. 代謝性アシドーシス

問題 70 出血傾向の原因と主な疾患との組み合わせで正しいのはどれか。

1. 血管の障害 ————— 血友病
2. 血液凝固障害 ————— 壊血病
3. 血小板の減少 ————— 白血病
4. 血小板の機能低下 ————— アレルギー性紫斑病

問題 71 腹部膨満感のある患者の看護で適切なのはどれか。

1. 体位変換は避ける。
2. 牛乳の摂取を促す。
3. 腹部の冷罨法を行う。
4. 呼吸困難の有無を観察する。

問題 72 局所麻酔薬中毒の症状で正しいのはどれか。

1. 発熱
2. 紅斑
3. 興奮
4. 出血

問題 73 慢性期にある患者の特徴について適切なのはどれか。

1. 進行は急激である。
2. 主な治療は手術療法である。
3. 家族内での役割は変化しない。
4. セルフケア(自己管理)が必要である。

問題 74 超音波検査に適さないのはどれか。

1. 肺
2. 心臓
3. 肝臓
4. 前立腺

問題 75 青年期の身体的特徴で正しいのはどれか。

1. 女子は肩幅が広がる。
2. 第2次性徴の発現がある。
3. 男子は皮下脂肪が増加する。
4. 成長は35歳ころまで持続する。

問題 76 ハヴィガーストの成人期の発達課題で正しいのはどれか。

1. 家庭を管理する。
2. 両親や他者から情緒的に独立する。
3. 社会的に責任ある行動を求め成し遂げる。
4. 自分の身体つきを受け入れて身体を効果的に使う。

問題 77 我が国における平成 26 年(2014 年)の 40 歳代の死因で最も多いのはどれか。

1. 心疾患
2. 不慮の事故
3. 脳血管疾患
4. 悪性新生物

問題 78 平成 19 年(2007 年)に取り組まれたがん対策はどれか。

1. がん対策基本法の施行
2. 地域がん診療拠点病院の整備
3. がん克服新 10 か年戦略の策定
4. 対がん 10 か年総合戦略の策定

問題 79 平成 25 年(2013 年)の成人期の有訴者率について正しいのはどれか。

- a. 性別で見ると男性より女性が高い。
- b. 症状別にみると男女ともに肩こりが最も多い。
- c. 有訴者率が最も高いのは男女ともに 40 歳代である。
- d. 病気やけが等で自覚症状のある者の人口千人当たりの割合をいう。

1. a, b
2. a, d
3. b, c
4. c, d

問題 80 睡眠時無呼吸症候群について正しいのはどれか。

1. 1 時間に 3 回の無呼吸を認める状態をいう。
2. 治療の第一選択は睡眠導入剤の投与である。
3. 日中の慢性的な眠気がある。
4. 体型がやせ型の人に多い。

問題 81 サルコイドーシスについて正しいのはどれか。

1. 有効な治療薬はない。
2. 消化器疾患の1つである。
3. 70歳代以降の発症が多い。
4. 自覚症状がなく健康診断で発見されることが多い。

問題 82 心臓弁膜症について正しいのはどれか。

1. 主な原因はウイルス感染である。
2. 病態に関わらず手術が第一選択となる。
3. 心音の聴診と心エコー検査が重要である。
4. 感冒症状が長期に続くことにより発見されることが多い。

問題 83 大動脈解離患者の看護で適切なのはどれか。

1. 積極的な運動を勧める。
2. 胸背部痛の有無を確認する。
3. 疼痛は我慢するように説明する。
4. 収縮期血圧を 130mmHg 以上にコントロールする。

問題 84 心臓カテーテル検査を受ける患者の看護で適切なのはどれか。

1. 検査直前の食事は中止する。
2. 検査中の患者への声かけは控える。
3. 検査後は水分摂取を控えるように説明する。
4. 大腿動脈穿刺後はすぐにトイレ歩行を勧める。

問題 85 慢性肝炎について正しいのはどれか。

1. 肝臓の炎症が3か月以上持続した状態をいう。
2. 治療方法の第一選択は肝庇護療法である。
3. 原因はC型肝炎ウイルスが最も多い。
4. 左季肋部痛が主症状である。

問題 86 パーキンソン病患者の観察項目で適切でないのはどれか。

1. 無動
2. 筋固縮
3. 羽ばたき振戦
4. 姿勢反射障害

問題 87 特発性血小板減少性紫斑病について正しいのはどれか。

1. 成人では慢性型が多い。
2. 骨髄の巨核球数は減少する。
3. 病的骨折をおこすことが多い。
4. 血小板数 10 万/ μl 以下では出血傾向に注意する。

問題 88 多発性骨髄腫患者の看護で適切なのはどれか。

1. 感染予防の方法を指導する。
2. 低カルシウム血症に注意する。
3. 骨髄穿刺後 24 時間の安静臥床をはかる。
4. 治療法の一つに γ グロブリン療法があると説明する。

問題 89 高尿酸血症で正しいのはどれか。

1. 肉中心の食事を勧める。
2. 水分は 500ml / 日以下に制限する。
3. 痛風の好発部位は足の母趾(母指)である。
4. 痛風発作の急性期は早急に尿酸値を下げる。

問題 90 甲状腺機能低下症患者の看護で適切なのはどれか。

1. 薄着を勧める。
2. テタニー症状を観察する。
3. 眼球突出の有無を観察する。
4. ローションやクリームで皮膚を保湿する。

問題 91 デュシェンヌ型筋ジストロフィーについて正しいのはどれか。

1. 多くは学童期に発症する。
2. 腓腹筋の仮性肥大を認める。
3. 常染色体劣性遺伝によりおこる。
4. 上肢の筋力低下から発見されることが多い。

問題 92 十二指腸潰瘍患者の看護で適切なのはどれか。

1. 出血性ショックに注意する。
2. 食物繊維の多い野菜の摂取を勧める。
3. 食後の心窩部痛(上腹部痛)を観察する。
4. カンピロバクターが原因であると説明する。

問題 93 髄膜炎患者の看護で適切なのはどれか。

1. 頭部は水平に保持する。
2. 室内の照明は明るくする。
3. 意識障害の有無を観察する。
4. 発熱時に冷罨法は行わない。

問題 94 関節リウマチについて正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 治療はペニシリンで行う。
3. 症状は約1か月で寛解する。
4. 手指関節のこわばりは朝方に多い。

問題 95 ギプス固定患者の看護で適切なのはどれか。

1. 患肢を下垂する。
2. プラスチック製のギプスは皮膚に直接巻く。
3. 患肢の手指や足趾の運動を行うように指導する。
4. 知覚異常の観察は患者から訴えがあったときに行う。

問題 96 尿路結石症について正しいのはどれか。

1. 結石成分としては尿酸が多い。
2. 尿管内の結石は疼痛が生じる。
3. 膀胱結石では血尿は認められない。
4. 結石が自然排出されることはない。

問題 97 血液透析を受ける患者の看護で適切なのはどれか。

1. 下痢になりやすいと説明する。
2. 透析は週1回であると説明する。
3. 水分を多く摂取するように勧める。
4. 血圧測定は毎日行うように指導する。

問題 98 ネフローゼ症候群患者の看護で適切なのはどれか。

1. 尿量を観察する。
2. 毎日の運動を勧める。
3. 浮腫が強いつきは冷やす。
4. 食事は高タンパク食とする。

問題 99 不妊症について正しいのはどれか。

1. 全夫婦の約30%に発生する。
2. 女性側の原因は子宮の障害が最も多い。
3. 造精機能障害では人工授精は行わない。
4. 多嚢胞性卵巣症候群の治療の一つに腹腔鏡手術がある。

問題 100 不正性器出血のある患者の看護で適切なのはどれか。

1. 性交は行ってよいと説明する。
2. ショック症状がある場合は骨盤高位にする。
3. ナプキンは1日に1回交換するように伝える。
4. プライバシーに配慮し出血の生じたきっかけは聞かない。

問題 101 尋常性乾癬患者の看護で適切なのはどれか。

1. 痒痒感はないと説明する。
2. 点状出血の有無を観察する。
3. 赤外線療法を行うことが多いと説明する。
4. ポリエステルの衣類を着用するように勧める。

問題 102 アナフィラキシーショックについて正しいのはどれか。

1. 麻酔薬は原因にならない。
2. 主に IgM抗体が関与する。
3. 症状の一つに血圧低下がある。
4. 遅延型のアレルギー反応である。

問題 103 ヒト免疫不全ウイルス(H I V)感染後の急性期症状はどれか。

1. 咽頭炎
2. 帯状疱疹
3. カポジ肉腫
4. 悪性リンパ腫

問題 104 網膜剥離患者の看護で適切なのはどれか。

1. 日帰りの手術が可能であると説明する。
2. 手術前の安静度について説明する。
3. 手術後は仰臥位になると説明する。
4. 手術後の再剥離はないと説明する。

問題 105 耳鼻咽喉科診察時の看護で適切なのはどれか。

1. 診察時は椅子に浅く腰掛けさせる。
2. 鼓膜切開時は頭部をしっかりと固定する。
3. 平衡機能検査は安静臥床した状態で行う。
4. 間接喉頭鏡検査中は声を出さないように説明する。

問題 106 齲蝕(むし歯)について正しいのはどれか。

1. 齲蝕は歯冠の裂溝に好発する。
2. 齲蝕の進行程度により 6 段階に分類される。
3. 我が国における成人の罹患率は約 50%である。
4. 齲蝕がエナメル質に達すると激しい痛みが生じる。

問題 107 我が国における平成 26 年(2014 年)の高齢者の統計で正しいのはどれか。

1. 平均寿命は男性 75 歳である。
2. 高齢化率は 30%を超えている。
3. 単独世帯の割合は年々減少している。
4. 主要欧米諸国と比べ高齢化の速度が速い。

問題 108 尿失禁のある高齢者の看護で適切なのはどれか。

- a. 飲水を制限する。
- b. トイレの照明を暗くする。
- c. 排尿パターンを把握する。
- d. 腹圧性尿失禁の場合は骨盤底筋訓練を勧める。

1. a, b
2. a, d
3. b, c
4. c, d

問題 109 後期高齢者医療制度について正しいのはどれか。

1. 保険料の徴収は都道府県が行う。
2. 70 歳以上の高齢者が対象である。
3. 保険者は後期高齢者医療広域連合である。
4. 一定以上の所得を有する者は 2 割負担である。

問題 110 加齢に伴う肺機能の変化で正しいのはどれか。

1. 残気量の減少
2. 胸郭の弾性の増加
3. ガス交換率の上昇
4. 肺胞表面積の減少

問題 111 加齢に伴う循環器系の変化で正しいのはどれか。

1. 収縮期血圧の低下
2. 大動脈弁の石灰化
3. 心筋細胞数の増加
4. 心臓の予備力の増大

問題 112 高齢者の性格や情緒的特徴で発現しやすいのはどれか。

- a. 心気性
- b. 自発性
- c. 柔軟性
- d. 易怒性

1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

問題 113 訪問看護ステーションの機能として適切でないのはどれか。

1. 家族支援
2. 精神的支援
3. 介護度の認定
4. 多職種間の調整

問題 114 介護老人保健施設について正しいのはどれか。

1. 要支援の認定で入所できる。
2. 医療法に規定される施設である。
3. 機能訓練はサービスの対象外である。
4. 施設サービス計画に基づいて介護が行われる。

問題 115 理解力が低下している高齢者が検査を受ける際の援助について適切でないのはどれか。

1. 事前に検査機器を見学する。
2. 検査中は進行状況を説明する。
3. 痛みがある場合は我慢しないように伝える。
4. オリエンテーションは誰にでも共通の方法とする。

問題 116 我が国における平成 26 年(2014 年)厚生労働省「患者調査」による 65 歳以上の外来受療率(人口 10 万対)で最も高いのはどれか。

1. 悪性新生物
2. 消化器系疾患
3. 循環器系疾患
4. 呼吸器系疾患

問題 117 聴力低下のある高齢者の看護で適切なのはどれか。

1. 高い声で話す。
2. 抑揚をつけずに話す。
3. にぎやかな環境で話す。
4. 真正面に向き合って話す。

問題 118 血管性認知症について正しいのはどれか。

1. 常同行動がみられる。
2. 認知症の中で最も多い。
3. 感情失禁はまれである。
4. まだら認知症が特徴である。

問題 119 大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術を受けた患者の看護で適切なのはどれか。

1. 長期間の安静臥床を勧める。
2. 患肢は回旋中間位を保持する。
3. 弾性ストッキングの装着は避ける。
4. 退院に向けた生活様式の見直しは不要である。

問題 120 我が国における平成 26 年(2014 年)の周産期死亡率(出産千対)で正しいのはどれか。

1. 2.7
2. 3.7
3. 4.7
4. 5.7

問題 121 胎児循環の順序で正しいのはどれか。

1. 胎盤 → 臍静脈 → 静脈管 → 右心房
2. 胎盤 → 臍動脈 → 上大静脈 → 右心房
3. 胎盤 → 臍動脈 → ボタロー管 → 右心房
4. 胎盤 → 臍静脈 → 下行大動脈 → 右心房

問題 122 褥婦の看護で適切なのはどれか。

1. 共圧陣痛の有無を観察する。
2. 産褥体操は深呼吸から始める。
3. 分娩後 6 時間以上は安静臥床を保つ。
4. 外陰部の清拭は肛門から尿道口に向けて行う。

問題 123 産科 D I C (播種性血管内凝固)について正しいのはどれか。

1. 重症化することはない。
2. 特定の臓器に障害がおこる。
3. 凝固機能の低下が先行する。
4. 原因の一つに常位胎盤早期剥離がある。

問題 124 離乳食について正しいのはどれか。

1. 1 日 1 回 1 さじずつ始める。
2. 開始は生後 8 か月ころがよい。
3. 開始後は母乳を控える。
4. 通常 2 歳までに完了する。

問題 125 乳児の沐浴で適切なのはどれか。

1. 授乳直後に行う。
2. 湯温は 41℃以上とする。
3. 沐浴時間は 30 分を目安とする。
4. 顔を拭くときは洗面器に準備した湯を使う。

問題 126 新生児の黄疸について正しいのはどれか。

1. 病的黄疸には光線療法が有効である。
2. 生理的黄疸は生後 1 週間ころに出現する。
3. 肝臓でのビリルビン処理が過剰なためにおこる。
4. 生理的黄疸の原因の一つに母子間の血液型不適合がある。

問題 127 麻疹患児の看護で適切なのはどれか。

1. 空気感染に注意する。
2. 清拭は発疹部分を避け行う。
3. 出席停止期間は発疹が消失するまでである。
4. 治療は免疫グロブリンが有効であると説明する。

問題 128 胆道閉鎖症について正しいのはどれか。

1. 黒色便となる。
2. 尿の変化はない。
3. 早期手術の適応となる。
4. ビタミンKが過剰になる。

問題 129 小児の与薬で正しいのはどれか。

1. 水剤はミルクに混ぜる。
2. 錠剤は家族の判断で砕いてよい。
3. 年長児はオブラートを使用してよい。
4. 散剤を練って口腔内に塗りつけてはいけない。

問題 130 障害者総合支援法で正しいのはどれか。

1. 法律の目的は障害者の保護である。
2. 難病が障害者の範囲に加えられた。
3. サービス必要度は障害者程度区分により決められる。
4. 提供されるサービスの一つに障害者手帳の交付がある。

問題 131 フロイトの業績で正しいのはどれか。

1. 早発性痴呆の発見
2. 統合失調症の概念を樹立
3. 精神分析的な精神療法を創始
4. 精神病者の拘束具からの開放

問題 132 平成 25 年(2013 年)の精神科における入院形態別入院患者数の割合が最も多いのはどれか。

1. 措置入院
2. 任意入院
3. 応急入院
4. 医療保護入院

問題 133 意識障害を伴わないてんかん発作はどれか。

1. 欠伸発作
2. 強直間代発作
3. 単純部分発作
4. 複雑部分発作

問題 134 我が国における平成 26 年(2014 年)の自殺者数で正しいのはどれか。

1. 40 歳代が最も多い。
2. 男性より女性が多い。
3. 前年に比べ増加している。
4. 最も多い原因は健康問題である。

問題 135 アルコール依存症患者の看護で適切なのはどれか。

1. 振戦せん妄の有無を観察する。
2. 断酒会への参加は必須であると伝える。
3. アルコールの量を減らしていくように伝える。
4. 興奮が激しい場合は看護師の判断で身体的拘束を行う。

問題 136 依存性パーソナリティ障害の特徴で正しいのはどれか。

1. 広範な不信感や猜疑心
2. 他者の注目を集める行動
3. 一定の秩序を保つことに固執
4. 世話をされたいという過剰な欲求

問題 137 離人症(離人感)の特徴で正しいのはどれか。

1. 現実感が薄れる。
2. 考えが吹き込まれると感じる。
3. 自分には価値がないと信じ込む。
4. 何者かに操られていると感じる。

問題 138 認知行動療法について正しいのはどれか。

1. 1回の治療で終了する。
2. 集団で行うことはない。
3. 認知のゆがみの修正を目指す。
4. 統合失調症患者は対象外である。

問題 139 悪性症候群の観察項目で最も適切なのはどれか。

1. 高熱
2. 徐脈
3. 無汗
4. 嘔吐

問題 140 神経性無食欲症について誤っているのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 肥満への恐怖がある。
3. 青年期に発症しやすい。
4. 内分泌系の障害が生じる。

問題 141 身長 70cm、体重 10kg の乳児。カウプ指数による身体発育の評価はどれか。

1. やせ
2. やせぎみ
3. 正常
4. 肥満

問題 142 5%次亜塩素酸ナトリウムを用いて 0.2%次亜塩素酸ナトリウム液 500ml を作るのに必要な薬液量はどれか。

1. 5ml
2. 10ml
3. 20ml
4. 25ml

問題 143 24歳の女性。急性骨髄性白血病と診断され、造血幹細胞移植を行うこととなった。同種移植を行い本日で移植後 10 日目となる。血球数の回復はまだみられていない。看護で適切なのはどれか。

1. 食事は加熱したものを提供する。
2. 数日で一般病棟へ移動できると伝える。
3. 今後の妊娠については心配ないと伝える。
4. 移植片対宿主病 (GVHD) の危険性は低いと説明する。

問題 144 46歳の女性。発熱と全身倦怠感があり、受診したところ胆石の嵌頓による急性胆嚢炎と診断され入院することとなった。入院時より経皮経肝胆道ドレナージを行っている。本日2日目となるが胆汁の流出量が減少している。看護で適切なのはどれか。

1. 食事制限はないと説明する。
2. チューブのねじれを観察する。
3. 排液バッグを刺入部と同じ高さに固定する。
4. 排液量を維持するため2ℓ以上の水分摂取を促す。

問題 145 58歳の男性。肺がんと診断され右中葉切除術とリンパ節郭清術を行った。本日で術後3日目となる。「傷が痛い」「痰が出せなくて息苦しい」と訴えている。看護で適切なのはどれか。

1. 胸式呼吸を意識するように促す。
2. 水分を控えめにするように伝える。
3. 創部を押さえながら咳嗽をするように促す。
4. 左上葉に貯留した痰を排出する際は左側臥位を保持させる。

問題 146 60歳の男性。喫煙歴35年で1日20本吸っている。喉に違和感があり受診したところ、喉頭がんと診断され、喉頭全摘術を行うこととなった。手術前の説明で適切なのはどれか。

1. 「喫煙は継続して構いません」
2. 「外見上の変化はおこりません」
3. 「手術の翌日から発声できます」
4. 「喉頭摘出を受けた患者の会があります」

問題 147 85歳の男性。外出後、「めまいがする。疲れた」と言いぐったりしていたため、家族に付き添われて受診したところ、脱水と診断され入院した。看護で適切なのはどれか。

1. 口腔ケアの実施は控える。
2. 高齢者の脱水は珍しいと説明する。
3. ナトリウムの摂取は避けるように説明する。
4. 口渇を感じなくても水分摂取が必要であると説明する。

問題 148 27歳の初産婦。妊娠8週3日である。2週間ほど前から吐きけと食欲不振が出現し、嘔吐を繰り返すようになったため受診した。その後、妊娠悪阻と診断された。看護で適切でないのはどれか。

1. ゆっくりと休息をとるように伝える。
2. 悪化すると尿量が増加すると説明する。
3. 食事は少量ずつ摂取するとよいと伝える。
4. 妊娠12～16週ころには症状が軽快していくと説明する。

問題 149 生後2週間の男児。心室中隔欠損症と診断された。母親から「今後の生活でどのようなところに気をつけたらいいですか」と質問があった。母親に伝える観察項目で適切でないのはどれか。

1. 体重の増減
2. 呼吸数の変化
3. 哺乳量の変化
4. いちご舌の有無

問題 150 てんかんの既往がある30歳の女性。クリニックの待合室で、ソファーに腰かけているときに突然意識を失い、けいれんをおこした。対応で適切なのはどれか。

- a. 衣服を緩める。
- b. 顔を上に向ける。
- c. 上肢や下肢を強く押さえる。
- d. 客観的に観察した状態を記録する。

1. a, b
2. a, d
3. b, c
4. c, d

受験番号等の記入方法

- 1 氏名欄に氏名を記入します。
- 2 受験番号の欄に自分の番号を記入します。
- 3 受験番号の数字のそれぞれに該当するところを丁寧にぬりつぶします。

(例) 受験番号 9061番 氏名 埼玉 彩子 の場合

自分の氏名を記入する。

フリガナ	サイタマ アヤコ
氏名	埼玉 彩子

自分の受験番号を記入してぬりつぶす。

受験番号			
千の位	百の位	十の位	一の位
9	0	6	1
①	●	①	①
②	②	②	●
③	③	③	③
④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	●	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧
●	⑨	⑨	⑨